

交換留学報告書

派遣先	
三重大学での所属学部・研究科	人文学部・文化学科
学年(出発時)	3年
大学名	セントラルランカシャー大学
国	イギリス
留学期間	2023年9月21日～2024年5月24日
派遣先での身分	交換留学生

一日の生活スケジュール(通学時)		
	通常日	部活日
8:00	起床	起床
9:00	授業	授業
10:00	授業	授業
11:00	授業	授業
12:00	昼食	昼食
13:00		
14:00	家事(料理)	家事(料理)
15:00	家事(洗濯)	
16:00	家事(洗濯)	自習
17:00	自習	自習
18:00	自習	部活
19:00	夕食	部活
20:00		帰宅・夕食
21:00		
22:00		
23:00	就寝	就寝
0:00		

履修科目				
科目名	時間数/週	履修単位	使用言語	授業内容(レポート、試験、授業形態等)
Study Overseas Programme	15時間		英語	英語4技能の向上
			英語	プレゼンテーションの方法
				エッセイの書き方
				イギリスの歴史・文化・社会
				1200程度のレポート
				TELLテスト
				プレゼンテーション
Europe in an Age of Extremes, c.1914-2000	3時間		英語	試験・レポート無

大学のサポート	
チューターの有無	無
チューターのサポート内容	
語学コースの有無	
コース名、料金、期間等	

生活	
住居のタイプ	寮
住居の名前	Whitendale Hall
部屋タイプ	個室
ルームメイト(国籍)	インド、韓国、イギリス、アメリカ、フランス
室内設備	勉強机、イス、ベッド、洗面所、収納棚
共用施設	キッチン、トイレ、シャワー
インターネット設備	有
大学までの交通手段(交通機関、所要時間)	徒歩5～10分
アルバイトの有無	無
アルバイトの内容	

渡航	
Visaの種類	Short-term study visa
Visa申請先	大坂・東京(1回目却下により申請を二度行いました。)
Visa取得にかかった日数	約1カ月
Visa取得にかかった費用	約23万円
Visa取得方法、提出書類等	オンライン申請後、英国ビザ申請センターにて必要書類(パスポート、入学許可書、財政資金証明、滞在先情報等)を提出する。申請約1週間後にメールにてVisaの受け入れ結果が届く。ビザが発行されたパスポートは申請センターに取りに行くことも郵送サービスで受け取ることも可能。
留学先大学の最寄り空港までの経路	大学のピックアップサービス、電車、バス、タクシー、Uber
渡航費用	38万
ピックアップサービスの有無	有

帰国後	
留年や卒業の遅れの有無	有
有る場合、その理由	就職活動、卒業論文のため
就職活動開始時期	2024年冬予定
帰国後の進路	未定

留学にかかった費用	
現地通貨＝日本円(約)	1ポンド＝180円～195円
保険料(海外旅行保険、国民健康保険等)	約15万円(ジェイアイ傷害火災保険)
学費(教科書代や語学コース授業料等)	0円(三重大学学費)
宿舍費(月額)	約6万円
光熱費(月額)	宿舍費に含まれる
食費(月額)	約4万円
その他	
留学期間中にかかった費用の合計	約250万円

感想等(※800字以上で語学勉強の成果についての内容も含め、ご記入ください。)

私は約8か月間セントラルランカシャー大学のStudy Overseas Programmeに参加し、語学力の向上と異文化交流、博物館学習という目的のため留学をしました。イギリスでの留学生活は、新しい学びと発見を得、自分自身の内面を知り成長させる機会となりました。

私が参加した留学プログラムの授業は、セミナー形式で主に二つの内容で構成されていました。一つは、B2レベルの英語力取得に向けての文法や単語やエッセイの書き方を学ぶもの、一つはイギリスの歴史や文化、社会を知るというものでした。先生方が話すアクセントの違いもあり、初めは英語に耳が慣れるまで時間がかかりましたが、単語の繋がる音やアクセントを意識して聞くことでリスニング力が大きく成長したと感じます。また授業は生徒参加型で自分の考えを発表したり、ディベートをしたりすることが多かったです。特にイギリスの文化等を知る授業では、クラスメイトの出身国の文化と比較しながら学ぶことができ興味深かったです。

このように授業内でスピーキングの練習はありましたが、日常会話レベルの会話力を得るには自分自身で更に周りの人とかかわる機会を作る必要がありました。そこで、ネイティブや様々な国から来た人々と交流する機会があるバレ一部に入部しました。部活内でできた近しい友人と日常的に英語を話す時間も増え、友人から新しいボキャブラリーを学んだり日本語と英語を互いに教え合ったりしました。このような経験を重ねることで、留学前より英語で伝える力を身に付けることができたのではないかと感じます。

さらにイギリスで国内旅行をした際、多くの博物館に行き、興味深い展示等を見ることができました。私は将来博物館学芸員として働きたいと考えているため、博物館学が先進しているイギリスで少しでも多くの博物館や美術館に行くことを留学目的の一つとしていました。現地では感じられない館内の雰囲気や展示から新しいアイデアを得るといった貴重な経験をすることができたので良かったです。

留学では、授業での英語学習に加え、積極的に周りの人々とかかわり、イギリスや他国の文化や慣習を知ることは、自分自身の視野を想像以上に大きくし、異文化や新しい価値観を受け入れられるきっかけとなりました。イギリスでの学び多き経験を今後の学校生活や将来の目標実現に向けて有効活用していきたいです。

今後留学する人へのアドバイス

渡航前のビザ申請に関するアドバイスをさせていただきたいです。留学にあたって一番時間と労力を要したのは渡航前のビザ申請でした。私が申請したのは6か月以上11か月未満の就学に必要なShort-term study visaで、オンライン申請と英国ビザ申請センターでの必要書類の提出が必須でした。結論から言うと、2回ビザ申請を行わなければならない、2回目の申請でビザの許可が降りました。パスポート、入学許可書(UCLanのLanguage Academyから受け取るビザレター。メールで届く。)、財政証明書(本人名義の通帳写しプラスその英語翻訳)、滞在先情報(寮の契約書)などの必要書類をビザ申請センターに提出後、本来であれば約1週間後にビザ発行許可が降りるという形でした。しかし、Study Overseasプログラムの入学許可書(ビザレター)が審査に引っ掛かったため、short-term study visaが却下されました。その後、新しい入学許可書(ビザレター)をUCLanから再び送っていただき、パスポートの受け取りと必要書類の準備後、二度目の申請を渡航約2週間前にしました。幸いなことに、申請の4日後に比較的早く発行許可が降りたため、予定通り無事に8カ月の留学をすることができました。三重大学の国際交流チームの方々やUCLanの担当者のサポートあってこそそのビザ申請なので大変感謝しております。当初2回目の申請を想定しておらず、ビザ申請を渡航約1カ月前にしたので、2回目の申請が直前となりました。自分自身もう少し余裕をもって申請すべきだったと反省しています。申請費用や渡航前の貴重な時間を無駄にしないために、入学許可書が届き次第遅くとも1カ月半から2カ月程前に必要書類の準備、書類不備がないか細かいところまで確認することをお勧めします。

これから留学に行く皆さん、渡航前の書類準備が大変だったり、留学中悩んだりすることがあるかもしれませんが、大学生活において一生忘れない思い出と学びが得られると確信しています。留学に行く方だけでなく迷っている方も留学で不安なことや相談したいことがあれば、留学説明会に参加したり国際交流センターに相談に行ったりするのもいいアイデアかと思います。主にビザ申請の拙いアドバイスになりましたが、皆様の留学先でのご活躍を陰ながら応援しています！

報告書記入日

2024年6月5日